

【3】 そばの生産のために使用した資材等

調査票 P5

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)				
計		—		万	千	百	十
			4	8	1	0	0

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単 位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				48,100	
種子代				48,100	

種子の購入及び自給数量

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
そば生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。
次ページ以降の調査項目も同じです。

【3】 そばの生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P6

2 肥料費

(1) 購入

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）				そば 負担割合 (%)	備 考 欄
計			—		万	千	百	十	
窒 素 質									
りん 酸 質									
カ リ 質									
け い 酸 質									※融雪剤として使用した 分は「5 諸材料費」 に記入してください。
(炭 酸 カ ル シ ウ ム)									
複 合 肥 料	配合〇〇号	2000	kg	1	7	0	0	0	60
土 壌 改 良 資 材									微生物資材、液肥、農 薬入り肥料、ペースト 肥料、苦土質肥料、微 量要素肥料、有機質肥 料など
たい肥・きゅう肥									
そ の 他			—	1	2	0	7	0	60

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」「複合肥料」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				48,100	
種子代				48,100	
肥料費				182,070	
窒素質肥料					
複合肥料				170,000	
たい肥・きゅう肥					
その他				12,070	

【3】 そばの生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P6

2 肥料費（続き）

（2） 自給（自家生産した肥料）

資 材 名 等	数 量 (kg)	そば 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
た い 肥	2 0 0	6 0
き ゆ う 肥		
稲 ・ 麦 わ ら		
そ の 他		

自給肥料の投入量

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
そば生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業薬剤費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、農業費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

3 農業薬剤費

資 材 名 等	金 額 (円)	そば 負担割合 (%)	備 考 欄
計	万 千 百 十		
殺 虫 剤			
殺 菌 剤			
殺 虫 殺 菌 剤	4 5 0 0 0	6 0	
除 草 剤			
そ の 他	5 0 0 0	6 0	植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				48,000	
肥料費				182,070	
農業費				50,000	
殺虫剤					
殺菌剤					
殺虫殺菌剤				45,000	
除草剤					
その他				5,000	

【3】 そばの生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

4 光熱動力費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額 （ 円 ）				そば 負担割合 (%)
購 入 （ 計 ）			—	万	千	百	十	
動 力 燃 料	重 油		L					
	軽 油	3 7 5	L		3 9	3 7 5		6 0
	灯 油		L					
	ガ ソ リ ン	2 3 0	L		2 7	6 0 0		6 0
	潤 滑 油	1 0	L		3 1	5 0		6 0
	混 合 油		L					
電 力 料			—		4 0	0 0 0		6 0
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			—		1 2	0 0 0		6 0
自 給								

5 諸材料費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額 （ 円 ）				そば 負担割合 (%)
購 入 （ 計 ）			—	万	千	百	十	
融雪剤		800	kg		1 5	0 0 0		6 0
自 給	なわ	10	m					6 0

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。
なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、
共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				48,000	
肥料費				182,070	
動力光熱費				122,125	
重油					
軽油				39,375	
灯油					
ガソリン				27,600	
潤滑油				3,150	
混合油					
電力料				40,000	
その他				12,000	
諸材料費				15,000	
融雪剤				15,000	
その他					

自給資材について

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
そば生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 そばの生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単位	金 額 （ 円 ）					そ ば 負 担 割 合 (%)			
計			—			万	千	百	十			
負 担 共 同 金	薬 剤 散 布		—			3	5	0	0	0	6 0	
	共 同 施 設		—									
農 機 具 借 料			—			1	1	5	0	0	0	6 0
航 空 防 除 賃			a									
賃 耕 料			a									
は 種 ・ 定 植 料			a									
収 穫 請 負 わ せ 賃		210.0	a			1	2	9	1	5	0	6 0
乾 燥 調 製 料		505	kg			1	2	1	2	0	0	1 0 0
そ の 他			—					9	7	0	0	6 0

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による
「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				48,000	
賃借料				150,000	
薬剤散布共同負担金				35,000	
共同施設負担金					
共同苗代負担金					
農機具借料				115,000	
その他					
支払 地代					
作業委託料				260,050	
航空防除賃					
賃耕料					
は種・田植賃					
収穫請負わせ賃				129,150	
乾燥調製料				121,200	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
そば生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P8

1 物件税

区 分	金 額 （ 円 ）						そば 負担割合 (%)
計			万	千	百	十	
固 定 資 産 税 （ 建 物 ）			4	3	0	0	5 5
固 定 資 産 税 （ 農 機 具 ）			2	5	0	0	6 0
不 動 産 取 得 税 （ 土 地 以 外 ）							
自 動 車 取 得 税							
水 利 地 益 税							
都 市 計 画 税 （ 土 地 以 外 ）							
共 同 施 設 税							

2 公課諸負担

区 分	金 額 （ 円 ）					そば 負担割合 (%)	
			万	千	百		十
計							
集 落 協 議 会 費 （ 地 域 集 落 等 の 会 費 ）							
農 業 協 同 組 合 費			1	7	5	0	7 0
農 事 実 行 組 合 費 （ そ ば 生 産 部 会 等 の 会 費 ）			1	0	5	0	7 0
農 業 共 済 組 合 賦 課 金			1	5	0	0	6 0

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「**固定資産税**」「**集落協議会費**」等
を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作
で負担したと見なしています。
なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページ
の【8】自動車の所有状況に記入してください。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				111,000	
固定資産税・建物				43,000	
固定資産税・農機				25,000	
自動車取得税					
水利地益税					
都市計画税					
共同施設税					
自動車保険料					
軽・自動車税					
自動車重量税					
自賠責保険					
集落協議会費					
農業協同組合費				17,500	
農事実行組合費				10,500	
農業共済組合賦課金				15,000	

【5】土地改良及び水利費

調査票 P8

1 土地改良区費

事業種類	そば作付ほ場負担金額（円）										そば負担割合（%）			
	維持負担金					償還金								
ほ場整備事業				万	千	百	十			万	千	百	十	70
農地開発事業				6	2	0	0	0						70
かんがい排水事業				4	2	0	0	0						70
農道整備事業														
その他（整地、表土扱いのない事業）														

2 水利費等

費 用 名	そ ば 作 付 ほ 場 負 担 金 額 （ 円 ）					そば 負担割合 （％）	
水 利 に 係 る 費 用 計			万	千	百	十	70

土地改良区費及び水利費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、土地改良水利費の補助科目として「ほ場整備事業維持負担金」「水利組合費」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
土地改良水利費				117,000	
ほ場整備事業				13,000	
農地開発事業				62,000	
かんがい排水事業				42,000	
農道整備事業					
その他（整地・表土扱いのない事業）					
水利組合費				26,000	
揚水ポンプ組合費					
その他					
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
ほ場整備事業還付金				26,000	

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査票 P8

資金名（用途）		調査開始時 未償還残高（円）				支払利子額（円）				そば 負担割合 （%）
計		万	千	百	十	万	千	百	十	
借 入 金	〇〇資金 （肥料散布機用）		3	0	0	0	0	9	0	6
	△△資金 （納屋購入用）	1	2	3	0	0	0	0	1	5
買掛未払金			3	0	0	0	0			7

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
前期の合計残高試算表の決算・**全部門**・貸借対照表と今期の合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「〇〇資金（肥料散布機用）」、「△△資金（納屋購入用）」等を設定しています。

貸借対照表		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
【流動負債】					
買掛金				30,000	
短期借入金					
【固定負債】					
長期借入金				1,260,000	
〇〇資金（肥料散布機用）				30,000	
△△資金（納屋購入用）				1,230,000	

借入金（支払利子）

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業外損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				19,350	
短期借入金利子					
長期借入金利子					
〇〇資金（肥料散布機用）				900	
△△資金（納屋購入用）				18,450	

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査票 P9

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	新 区 分 新築 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	そば負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円) 売却金額、取り壊しの金額
負担割合の変更の例	1	納屋	3	6	○		2005	9	130,000		50,000	60		
共同所有の例	2	車庫（4戸で共同所有）	8	5	○		1980	8	130,000			55		
準備金使用の例	3	その他の建築物	1	3	1	○	2015	2	300,000	300,000		55		
新築の例	15	納屋（新築）	3	6	○		2019	7	300,000			55		

建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分		資産名称					減価償却資産集計表				取得価格	普通償却額	売却価額
		摘要							交付金等	割増特別償却額	売却損益		
		取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	期首帳簿価額				
		売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	期末帳簿価額				
1 農 業 建物	納屋							130,000					
	2005/9												
2 農 業 建物	車庫（4戸で共同所有）							130,000					
	1980/8												
3 農 業 建物	倉庫							300,000					
	2015/2												
4 農 業 建物	納屋（新築）							300,000					
	2019/7												

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て
畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

取得年月と取得価格

本マニュアルP24と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

調査票 P10

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金分を 控除した額を記入してくだ さい。	修繕費 (円) 当年の当該自動車等 の修繕費を記入してく ださい。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動 車等の保険料を記 入してください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動 車等の自動車税又 は軽自動車税を記 入してください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		そば 負担 割合 (%)	年内異動状況	
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円) 万 千 百 十	自賠責保険 (円) 万 千 百 十		異 動 コ ー ド	売却金額 (円) 万 千 百 十 廃棄（無償譲渡を含む。）し た場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラ	1	1	○	○	3	2014	4	85000	50000	35000	40000	26500	6600	60		
2	普通乗用車	2	2	○	○		2013	1	1500000	200000	400000	450000			15	1	500000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	1	3	○	○		2019	3	3800000		350000	115000			60		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書 全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目として「自動車保険料」を設定しています。
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書 全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
【販売費一般管理費】					
租税 公課				355,100	
固定資産税・建物				65,000	
軽・自動車税				★ 68,300	
自動車重量税				26,500	
自賠責保険				6,600	
損害保険料					
自動車保険料				425,000	

★「軽・自動車税」には、次ページの農業機械の税金も含まれます。